

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公表番号】特表 2017-535106 (P2017-535106A)

【公表日】平成 29 年 11 月 24 日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2017-045

【出願番号】特願 2017-513763 (P2017-513763)

【国際特許分類】

H 0 4 W 88/10 (2009.01)

H 0 4 W 4/35 (2018.01)

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 88/10

H 0 4 W 4/04 1 7 0

H 0 4 W 52/02 1 1 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 9】

タイムスロット通信方法時には、例えば n 秒以内、例えば 1.5 秒以内に、 m 個のタイムスロット、例えば 2.55 個のタイムスロットが使用される。この n 秒が一つのタイムスロットサイクルを形成する。それゆえ、このタイムスロット通信方法では、一つのタイムスロットサイクル以内の m 個のタイムスロットが、電子価格表示板との通信に対して使用される。電子価格表示板のそれぞれは、タイムスロットの一つに割り当てられることができるが、いくつかの電子価格表示板を、一つの指定されたタイムスロットに割り当てることもできる。システムにおいては、例えば 1.5 秒のタイムスロットサイクルの間に 2.56 個のタイムスロットが、58.6 ミリ秒ずつ存在し、タイムスロットあたり 2 ないし 5 個の電子価格表示板を個々に問題なくアドレスすることができ、一つのコマンドで個々の課題をそれらの電子価格表示板に委任することができる。各電子価格表示板は、実行したコマンドの完了（処理）を確認データを用いて応答することができ、この確認データは、好ましくは、コマンドを受信したそのタイムスロットにおいて送信される。それぞれの電子価格表示板のために指定されたタイムスロットの外部では、電子価格表示板は主として、エネルギーを節約するスリープ状態で運転される。スリープ状態では、その電子価格表示板の論理ステージまたは時間操作ステージは、適時におけるウェークアップのためのタイミングのために必要な活動のみを行い、それによって、その電子価格表示板は、同期化データ信号の受信のための、次に当該電子価格表示板に対して指定されたタイムスロットでは、その電子価格表示板の同期化した状態を確認し、および / または、無線モジュールとの通信の準備ができています。同期化した電子価格表示板はできるだけ長くスリープ状態で運転される。